

新日鉄のエコプロダクツが第3回「ものづくり日本大賞」を受賞

新日鉄は、需要家や社会での省エネルギー・省資源や環境負荷低減に貢献する先進環境対応型製品「エコプロダクツ®」の開発・提供を推進しているが、これらの製品の開発が、第3回「ものづくり日本大賞」において、「内閣総理大臣賞」ならびに「優秀賞」（4件）を受賞した。

ものづくり日本大賞は、2005年に創設された内閣総理大臣表彰であり、日本の産業・文化を支えてきた「ものづくり」を継承・発展させていくため、「ものづくり」に携わる優秀な人材を表彰する制度。その中で特に優秀と認められる人材に対しては内閣総理大臣賞が与えられる。

＜内閣総理大臣賞＞

・環境適合燃料タンク用鋼板「エココート®-S」の開発

＜優秀賞＞

・環境に優しい先進鋼材「鉛を使わない低炭快削鋼」の開発

・自動車の燃費向上と乗員保護に貢献する「良成形性超高強度鋼板」の開発

・大型コンテナ船用「高強度高靱性厚鋼板（47キロハイテン）」の開発と新規船体構造設計

・無塗装橋梁用「ニッケル系高耐候性鋼」とその安心を支える防食技術システムの実用化

お問い合わせ先 広報センター TEL 03-3275-5023

大分製鉄所第1高炉の稼働について

新日鉄は、急激かつ大幅な鉄鋼需要の減少に対応するため、大分製鉄所第1高炉および君

津製鉄所第2高炉の操業を一時休止しているが、今後の需要の見通し・生産効率などを勘案し、

大分製鉄所第1高炉を8月2日（予定）より稼働（火入れ）することを決定した。

お問い合わせ先
広報センター
TEL 03-3275-5021~5023

土木向け2製品で、新たにエコマークを取得

新日鉄はエコマーク認定制度（※）において、新たに土木向け2製品でエコマークを取得した。取得したのは「TN-X工法向け鋼管杭」と「ジャイロプレス工法®向け鋼管杭」の2製品で、いずれも低排土用鋼管杭。

土木製品については2005年

にエコマーク認定基準が制定され、当社は鉄鋼業界で初めて、4製品のエコマークを取得した。今回認定された2製品と合わせて、当社のエコマーク製品は合計6製品で、業界ナンバーワンのラインナップとなる。

※エコマーク認定制度：

（財）日本環境協会が、製品のライフサイクル全体を通じて環境負荷が少なく、環境保全に役立つと認める商品認定する制度。認定商品には「エコマーク」を付けることが許可される。

お問い合わせ先
広報センター
TEL 03-3275-5021



TN-X工法向け鋼管杭の先端部分

港湾地域での本格的な低騒音・低振動・高支持力鋼管杭施工法「RSプラス®」を開発

新日鉄は、（独）港湾空港技術研究所、調和工業（株）と共同で港湾地域での本格的な低騒音・低振動・高支持力鋼管杭施工法「RSプラス®」を開発した。

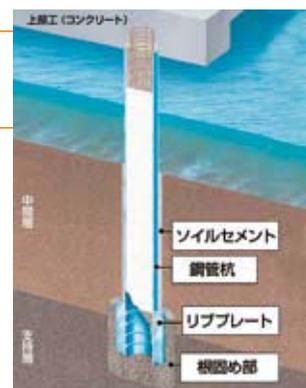
RSプラス®は、港湾地域に住居や工場などがあり、騒音・

振動対策に必要な環境条件下でも鋼管杭の施工を可能にしたもので、しかも大きな支持力を発揮し、杭本数の削減も可能にする。

今後は、港湾分野の騒音・振動対策が必要な護岸、岸壁工事（栈橋用杭）などへのRS

プラス®の適用を積極的に提案していく。

お問い合わせ先
広報センター
TEL 03-3275-5021



RS プラス® 杭の構造図

（株）金融エンジニアリング・グループが、「データマイニング」の国際競技会で第2位

新日鉄ソリューションズ（株）の100%子会社である（株）金融エンジニアリング・グループが、大量データを解析し、その中に潜む相関関係やパターンなどを探し出す技術データマイニングの国際競

技会「KDDカップ（※）」で、世界各国からの参加453グループの中、第2位を獲得した。日本に本社または拠点を置く企業の入賞は初めてで、金融分野で培った同社の高いデータマイニング技術が証明され

た。表彰式は6月28日にパリで行われた。

※KDDカップ：米国コンピュータ学会（ACM）のデータマイニング分科会であるKDD学会が毎年主催する大会で、世界中の研究機関、シンクタンクなどが多数参加している。

お問い合わせ先
新日鉄ソリューションズ（株）
総務部 広報・IR室
TEL 03-5117-6080

本社ビル移転について

新日鉄は8月17日より本社を移転いたします。
お問い合わせまたはお越しいただく際は、右記の住所・
連絡先をご参照ください。

- ・新住所：〒100-8071 東京都千代田区丸の内2-6-1
丸の内パークビルディング
(受付：2階、オフィフロア：8～14階)
- ・新電話番号：03-6867-4111 (代表)

「鉄-137億年の宇宙誌」展開催中

7月24日より、東京大学総合研究博物館（東京都文京区）において、物理学・天文学・地球科学・生命科学・材料工学など、さまざまな視点から、「鉄」をキーワードに宇宙史・生命史・文明史に関するメッセージを発信する、「鉄-137億年の宇宙誌」展が開催されてい

ます。皆様ぜひご覧ください。
「鉄-137億年の宇宙誌」概要
会期：2009年7月24日～10月31日
会場：東京大学総合研究博物館
(東京大学本郷キャンパス内)
入場無料、月曜日休館

主催：東京大学総合研究博物館
協賛：新日鉄
URL：<http://www.um.u-tokyo.ac.jp>



お問い合わせ先 広報センター TEL 03-3275-5023

新日鉄ソリューションズ(株)がクラウド・コンピューティングの実証検証センターを開設

新日鉄ソリューションズ(株)は、クラウド・コンピューティングの実証検証センター「NS Cloud Competence Center」を7月1日に開設した。実証検証センターは、横浜みなとみらいにある同社のシステム研究センター内に設置され、顧客のシステムをクラウド化する「プライベートクラウド」の評価・検証

などを、主要企業11社の協力を得て行う。
ITインフラを効率的に利用するクラウド・コンピューティング技術は、実際に適用することが非常に難しいが、今回同社が、クラウド環境に移行したシステムの安定性などを無償で検証できるサービスを提供することで、クラウド活用を促進し

ていく。
これら実証検証を通じ、同社は、従来から提供してきたシステムインテグレーションに加え、サービスインテグレーションの提供についても注力していく。



NS クラウド・コンピテンセンター

お問い合わせ先
新日鉄ソリューションズ(株)
総務部 広報・IR室
TEL 03-5117-6080

日鉄コンポジット(株)が「セグメント切削シールド工法」を実用化

日鉄コンポジット(株)と前田建設工業(株)は、非開削工法で道路トンネルの分岐合流部を構築する技術として「セグメント切削シールド工法」の開発を進めているが、実用化に向けた一連の性能試験および試設計を完了した。

本工法は、切削可能なセグメントで先行トンネルを構築した後、後行するシールド機で先

行トンネルを直接切削し、2つのトンネルを結合することで分岐合流部を構築する工法。これにより、地中だけの作業で2つのトンネルを結合できる上、道路トンネルにおける分岐合流の構造幅を最小にできる。さらに地山の露出を最小限に抑え、補助工法の範囲の大幅縮減が可能となり、環境負荷の低減や工費・工期の短縮が図れる。本工

法の実現にあたり、従来のコンクリート骨材に代わる切削可能な材料として「軽量骨材」を、鉄筋に代わるものとして「炭素繊維」を選定した。
本工法は、首都高速「外環道延伸(大泉ジャンクション以南)」における既存高速道との連結部(中央自動車道、東名高速道路ほか)や一般道とのジャンクション(住宅密集地での大深度地下工事)での採用を目指している。



炭素繊維格子筋

お問い合わせ先
日鉄コンポジット(株)
土木営業部
TEL 03-5623-5557

紀尾井ホール(財)新日鉄文化財団

9月 主催公演から <http://www.kioi-hall.or.jp>

18日 近代長唄の響き その二 大正期 [邦楽]
出演：杵屋巳津也、杵屋佐伍、稀音家義丸(唄)、
杵屋巳吉、杵屋佐吉、稀音家六四郎(三味線)、
堅田喜三久連中(囃子)、稀音家義丸、徳丸吉彦(対談) ほか
曲目：「出雲のお国」、「夢の玉菊」、「紀文大尽」

30日 新日鉄プレゼンツ 紀尾井ニュー・アーティスト・シリーズ
第16回 江川敦子(ピアノ)
出演：江川敦子(Pf)
曲目：モーツァルト ピアノ・ソナタ第13番ハ長調 KV330、
ベートーヴェン ピアノ・ソナタ第8番ハ短調 Op.13「悲愴」ほか

お問い合わせ・チケットのお申し込み先：紀尾井ホールチケットセンター TEL 03-3237-0061 (受付 10時～18時 日・祝休)